

報道関係各位

2021年11月24日

工学院大学、オールジェンダー対応の便座をデザイン

工学院大学(学長:伊藤慎一郎、所在地:東京都新宿区/八王子市)の鈴木敏彦研究室(建築デザイン学科)は、オールジェンダー対応の便座「小便座」をデザインし、11月24日から開催される産業交流展 2021に出展します。高齢者や介護者、障害者やLGBTなど、誰でも安心して利用できるトイレの実現を目指します。



小便座は、従来のトイレの便座の上に取り付けて使用する、蓋を兼ねた男性用の便座です。男性は便器に向き合うようにまたがった姿勢を取ります。大便で使用する際は、蓋として上げて通常の便座に座ります。この便座を個人住宅・公共トイレに設置する利点として、あらゆる人のプライバシーを守る、トイレスペースを有効活用できる、飛尿による汚れ減少、オストメイト使用者は座ったままパウチ処理が可能、などがあげられます。

■「小便座」詳細

製品名 : 小便座付き便器
特許 : 日本教育楽器株式会社、特開 2020-133151 号
意匠登録 : 工学院大学、便座、意願 2021-025312(2021年11月28日出願)
サイズ : 510mm x 348mm x 120mm

■「産業交流展 2021」出展概要

開催日時 : 2021年11月24日(水)-11月26日(金)
会場 : 東京ビッグサイト南展示場、4階 南3ホール、医療・福祉分野 ブース23
出展者 : 日本教育楽器株式会社
テーマ : 小便座/オールジェンダー便器の提案
出展内容 : 試作デザインの展示、着座体験
イベント URL : <https://www.sangyo-koryuten.tokyo/>

<取材に関するお問い合わせ>

学校法人 工学院大学 広報課/担当:堀口・森川・樋口
03-3340-1498 | gakuken_koho@sc.kogakuin.ac.jp